

令和8年6月4日
福島県農林水産部水産課
福島県水産資源研究所

試験研究目的でのホシガレイ稚魚の放流について

令和8年度のホシガレイ稚魚(全長約6-8cm)の放流を、下記により実施しますので、お知らせします。

記

1 放流概要

福島県では、新たな栽培漁業対象種の候補として、ホシガレイの種苗生産や放流技術の開発に取り組んでいます。本年度のホシガレイ稚魚の放流尾数は7万4千尾を予定しております。放流後の追跡調査により、放流効果を検証してまいります。

放流日	放流尾数	放流場所
令和8年6月10日(水) 13:30~	約1万2千尾	請戸漁港(浪江町請戸字東迎地内)
令和8年6月11日(木) 11:00~ 14:15~	約1万2千尾	松川浦漁港新港(相馬市尾浜字松川地内)
	約1万2千尾	宇多川河口域(相馬市和田字下中船87地先)
令和8年6月24日(水) 13:30~	約1万3千尾	請戸漁港(浪江町請戸字東迎地内)
令和8年6月25日(木) 11:00~ 14:15~	約1万3千尾	松川浦漁港新港(相馬市尾浜字松川地内)
	約1万2千尾	宇多川河口域(相馬市和田字下中船87地先)

※天候等により予定が変更となる可能性があります。放流可否については、当日午前9時以降、福島県水産資源研究所にご確認ください。

2 放流する稚魚について

今回放流するホシガレイ稚魚は、福島国際研究教育機構（F-REI）の令和7年度農林水産分野の先端技術展開事業「ICTインフラを用いた効果的な種苗放流による資源の安定化」において、令和8年1月～2月に採卵及びふ化仔魚の収容を行い、福島県水産資源研究所で生産されたものです。

【ホシガレイについて】

ホシガレイは全長約65cm、体重約4kgまで成長するカレイ科マツカワ属の一種です（図1）。

東北太平洋沿岸、瀬戸内海及び九州西部に分布し、東北太平洋沿岸では、福島県と宮城県で多く漁獲されます。成長が早く、単価が高いこと、また、多様な漁法（さし網、小型底びき網、沖合底びき網）で漁獲されることから栽培漁業の対象種として期待されており、震災以前から種苗生産・放流試験を実施してきました。

震災前の福島県の漁獲量は年間1.7～3.8トン程度でしたが、近年は0.5～1.7トン程度で推移しています。



図1 ホシガレイ種苗

本件問い合わせ先

福島県農林水産部水産課

主幹 早乙女 忠弘

電話 024-521-7375（内線 3262）

福島県水産資源研究所

主任専門研究員（兼）副所長（兼）種苗研究部長 廣瀬 充

電話 0244-32-0793

【参考】

ホシガレイの放流実績

放流年度	放流尾数 (尾)	サイズ (cm)
平成4年	1,000	20
平成5年	0	
平成6年	9,447	9 ~ 10
平成7年	7,820	9.2
平成8年	57,600	9.8
平成9年	1,336	22.6
平成10年	10,780	8.4
平成11年	6,800	7.5
平成12年	8,771	8.3 ~ 51
平成13年	29,505	8.1 ~ 8.8
平成14年	17,790	8.4 ~ 8.7
平成15年	70,546	8.1 ~ 9.2
平成16年	53,214	8.1 ~ 8.9
平成17年	53,380	8.1 ~ 8.7
平成18年	71,009	6.5 ~ 9.1
平成19年	27,602	8.1 ~ 11.1
平成20年	23,303	7.8 ~ 9.9
平成21年	26,377	8.1 ~ 8.9
平成22年	57,842	6 ~ 8.5
平成23年	0	
平成24年	0	
平成25年	0	
平成26年	26,407	5.8 ~ 9
平成27年	18,000	6 ~ 8
平成28年	3,126	6.4 ~ 8.3
平成29年	15,510	7.2 ~ 9.6
平成30年	195,000	7.5 ~ 7.8
平成31年	242,000	6 ~ 8
令和2年	180,000	6 ~ 8
令和3年	80,000	概ね6cm
令和4年	20,000	概ね6cm
令和5年	50,000	6 ~ 8
令和6年	55,000	6 ~ 10
令和7年	6,500	6 ~ 10
令和8年	74,000	6 ~ 8